

学習指導案形式例【R6 自立活動】

(群馬県教育委員会)

・自立活動は、一人一人の実態に対応した活動であり、よりよく生きていくことを目指した主体的な取組を促す教育活動である。

・指導案を作成する上で、年間指導計画、個別の指導計画、流れ図との関連を踏まえ、学習指導案を作成する。
・個別の指導計画、流れ図等を添付し、学習指導案との関連を示す。

「流れ図」：特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（平成30年3月）で示された。「実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れの例」のこと。

【児童（生徒）の実態】

・「個別の指導計画」及び、「流れ図」記載の「②-2 収集した情報（①）を学习上又は生活上の困難や、これまでの学習状況の視点から整理する段階」、「③ ①をもとに②-1、②-2、②-3で整理した情報から課題を抽出する段階」の記載内容等と関連させて、本指導案に関わる実態を記述する。
<記載例>「～は難しいが、（～の支援）により、～できる。」

【評価規準】

・「個別の指導計画」及び「流れ図」記載の「⑧具体的な指導内容を設定する段階」と関連させて記述する。
<文末例>「～している。」など。

【指導計画】

・「年間指導計画」及び「個別の指導計画」と関連させ、単元（題材、主題）の学習活動を、単位時間ごとに一文で簡潔に記述する。

【ICT活用】

・児童（生徒）の個別最適な学びや協働的な学びの質を高めるために効果的な場合に使用する。

フォントサイズ・・・原則：10.5P、小：9.0Pまで
児童（生徒）数によっては、様式を横方向に使用する。

自立活動学習指導案

単元名（題材名、主題名）「○○○○○○○○○○○○○○○○」
～△△△△△△△△△△△△△△～

令和○年○月○日（○） 第○校時 ○○○○教室
○○立○○学校 ○○○学級 指導者 ○○ ○○（T1）
○○ ○○（T2）

I 単元（題材、主題）の構想

1 単元（題材、主題）の目標及び児童（生徒）の実態

児童（生徒）	児童（生徒）の実態	目標 【指導目標を達成するために必要な項目】
A (○年)	・ ・ ・	・ 【 () 】 【 () 】 【 () 】
B (○年)	・ ・ ・	・ 【 () 】 【 () 】 【 () 】

2 評価規準

A	・
B	・

3 指導計画（全○時間：本時第○時）

時	学習活動
1~2	・~~~~~。(あ) (a)
3~4	・~~~~~。(い) (b)
5~6	・~~~~~。(う) (c)
7~8	・~~~~~。(あ)
9~10	・~~~~~。(あ) (a)
11~12	・~~~~~。(あ) (a)

【ICT活用】 *活用する学習支援ソフト等：(あ) (い) (う)
*活用するコンテンツ等：(a) (b) (c)

【単元名（題材名、主題名）】

単元…各教科等において、一定の目標や主題を中心として組織された学習内容の有機的なまとまりを示すもので、学習に順序性があり、計画から実際の学習の展開、まとめを一連の活動として設定しているもの。

題材…教科における系統性を背景にもった学習活動の材料であり、学習活動のまとまりとして設定しているもの。

主題…指導を行うに当たって、何をねらいとし、どのように教材を活用するかを構成する指導のまとまりを示すものであり、「ねらい」とそれを達成するために活用する「教材」によって構成されるもの。

※単元、題材、主題を用いるかは、上記のことを踏まえて授業者が判断する。

・児童（生徒）にとって分かる、あるいは児童（生徒）が活動をしやすい言葉や言い回しで記載する。
・配当数が多い場合については「～○○○○～」と副題を付け、本時で取り組む内容やねらい等を記載する。

【目標】

・「個別の指導計画」及び「流れ図」記載の「⑧具体的な指導内容を設定する段階」の記載内容を参照し、記述する。

<文末例>「～することができる。」など。

【指導目標を達成するために必要な項目】

・「自立活動 内容6区分27項目」及び「流れ図」記載の「⑥ ⑤を達成するために必要な項目を選定する段階の項目」を参照し、記載する。

【活用する学習支援ソフト等】

・（平仮名文字）の後に、学習をサポートするソフトウェア等を記述する。
例：(あ) △△ボード、(い) テキスト□□□ 等

【活用するコンテンツ等】

・（片仮名文字）の後に、参観者が後に参考とできるよう、学習で使用するWebのURL情報等を記述する。
例 (a) <http://www.nc.gunma~~~~> 等

※ (あ) (a) 等は、指導計画の中に位置付ける。

